

介護予防通所リハビリテーションセンター風々の活動紹介

医療法人社団 玉栄会 東京天使病院 リハビリテーション科
理学療法士 小野慎太郎

当法人では東京天使病院で医療保険において一般病棟・回復期病棟・外来の患者様に対してのリハビリテーションを提供しているが、エンジェルコートで介護保険でのリハビリテーションも提供している。

その中で介護予防通所リハビリテーションセンター風々（以下、当センターとする）では、平成20年より介護予防通所リハビリテーション（以下、介護予防リハビリとする）と3時間以上4時間未満の通所リハビリテーション（以下、通所リハビリとする）を週2回開始した。

そして現在では介護予防リハビリを週に4回、通所リハビリを週2回、1時間以上2時間未満の通所リハビリテーション（以下、短時間通所リハビリとする）を週2回、理学療法士・介護福祉士を中心として要介護・要支援の利用者様がそれぞれの有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう必要なリハビリテーションを行い、利用者様の機能の維持回復を支援している。

介護保険領域の通所サービスを利用している利用者様の発言で良く耳にするのは、「教室の雰囲気になじめない。」や「周りの人のペースについていけない。」など、提供しているサービスの内容よりもその場所の雰囲気や、一緒に利用している利用者様方との関係でサービスを変更する方が多いように感じている。

そのため、当センターでは各利用者の個性やペースに合うようにそれぞれの教室の雰囲気づくりを意識した上で担当セラピストを複数人交代で配置している。その具体的な取り組み・活動について紹介したいと考えている。